

【NEWS RELEASE】

2026年3月17日

各 位

株式会社三井住友銀行

スポーツの熱量を社会課題解決につなげる仕組みの社会実装に向けた
EDO ALL UNITED とのパートナー契約締結について

株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：中島 達、以下、当社グループを総称して「SMBC グループ」）傘下の株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕、以下、「三井住友銀行」）は、スポーツの熱量を社会課題解決につなげる仕組みの社会実装を目的として、関東サッカーリーグ 1 部（※）に所属する EDO ALL UNITED（運営：Edo All United 株式会社、代表取締役：鈴木 良介）とパートナー契約を締結したことをお知らせいたします。

三井住友銀行では、プロ野球日本シリーズをはじめ、SMBC グループの経営理念・価値観と親和性の高いスポーツ活動への協賛に加え、スポーツに取り組む方々への支援、企業スポーツへの参戦、スポーツを通じたコミュニティの活性化など、幅広い取組を進めてまいりました。

これらの活動を通じて、スポーツには多様な人々を惹きつけ、大きな熱量を生み出す力があると考えております。また、その熱量は競技や応援の枠を超えて人々の行動を後押しし、結果として社会課題の解決にもつながり得るものと捉えています。

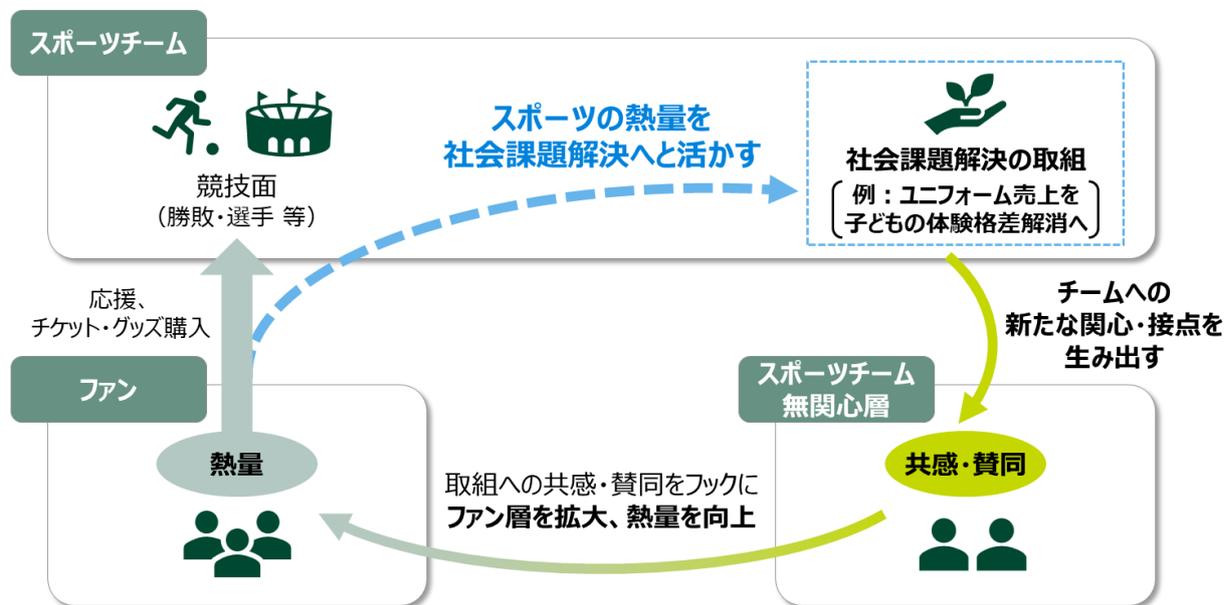
こうした考えのもと、三井住友銀行は、グッズ等の売上の一部を原資に社会課題解決に取り組む活動へ寄附を行うなど、熱量あるファンの皆さまの行動が自然な形で社会課題解決につながる仕組みの社会実装に挑戦してまいります。あわせて、これらの取組を通じてクラブへの新たな関心や接点を創出し、ファン層の拡大や熱量の更なる向上を促すことで、社会的価値の創造につながる好循環の実現を目指します。

三井住友銀行は、この好循環を生み出すための第一弾のパートナーとして、趣旨にご賛同いただいた EDO ALL UNITED と推進してまいります。

EDO ALL UNITED は、2020 年に本田圭佑氏が創設した社会人サッカークラブです。会費を支払うことで、誰もが「オーナー」としてクラブに参画でき、重要な意思決定について提案から決議まで関与できる仕組みを採用しています。ファンがクラブ運営に主体的に関わる、新しいクラブ経営の形に挑戦している点が特徴であり、創設から 6 シーズンで 5 度の昇格を果たすなど、競技面でも着実に成長を続けています。

また、EDO ALL UNITED の発起人であり、現オーナー兼 GM である本田圭佑氏にも、三井住友銀行のスポーツに関する既存の取組にご協力いただくことで、社会的価値創造に向けた取組を一層加速してまいります。

【参考】 スポーツの熱量を活かした社会課題解決と、ファン層拡大・熱量向上との好循環



※ 関東サッカーリーグ 1 部

日本全国に 9 つある地域リーグのひとつであり、国内のサッカーリーグにおいて J1、J2、J3、JFL に次ぐ 5 部に相当します。

以 上